秘密と嘘（1996）

SECRETS & LIES

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 142分
初公開日 1996/12/21
公開情報 フランス映画社

【解説】

教養もなくひたすら陽気なだけが取り柄のような中年女シンシア。だがしかし、彼女にはどこか暗い陰りがあった。私生児の娘ロクサンヌと二人暮らしの彼女は、若い時分のふしだらさを年頃の娘に非難されてばかりいたのだ。子供のいない写真館を営む弟のモーリスは姪っこ可愛さに、姉を経済的に援助している。人生の成功者である彼も、浪費家の妻と共にどこか救われない悲しさを抱えている。ある日シンシアは、自分が母だという若い女性からの連絡を受けた。確かに彼女にも、身に覚えがある。恐る恐る待ち合わせ場所に出掛けてみれば、そこには黒人女性ホーテンスが待ち受けていた。褐色の肌の娘の存在をいったんは否定したシンシアだったが、やがて愛情は厚く通いはじめ、彼女はロクサンヌの誕生会で家族に、ホーテンスを勤め先の工場の同僚といって紹介するのだが……。

９６年度のカンヌ、パルムドール大賞作であり、徹底したリハーサルの中での即興演出を旨とする英国の俊英リーの真骨頂を示す、実際見事な作品だが、ストーリーの持つ意外性をあまりにリアルに伝えようとする、その一点にいささかの引っ掛かりも残る作品。嘘は嘘としてもっと堂々とついてほしいという気も、映画の嘘をこよなく愛すものとしては思うのであるが、確かにシンシアのブレシン入魂の演技は時に重苦しいほど役を生ききって、圧巻というほかはない。

【クレジット】

監督	マイク・リー	Mike Leigh
製作	サイモン・チャニング＝ウィリアムズ	Simon Channing-Williams
脚本	マイク・リー	Mike Leigh
撮影	ディック・ポープ	Dick Pope
音楽	アンドリュー・ディクソン	Andrew Dickson
出演	ブレンダ・ブレシン	Brenda Blethyn
	ティモシー・スポール	Timothy Spall
	フィリス・ローガン	Phyllis Logan
	クレア・ラッシュブルック	Claire Rushbrook
	マリアンヌ・ジャン＝バプティスト	Marianne Jean-Baptiste
	エリザベス・バーリントン	Elizabeth Berrington
	リー・ロス	Lee Ross

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.